

平成 16 年度

消防局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成 16 年度消防局予算要求総括表	1
2	16 年度予算要求にあたっての基本的考え方	2
3	予算要求の重点事項	4
	ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ	
	その他	
4	事務事業の見直し	7
	財団法人札幌市防災協会への派遣職員のプロパー及び嘱託化	

1 平成 16 年度消防局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
総務部	5,518 (4,414)	6,711 (4,870)	1,193 (456)	21.6% (10.3%)
合 計	5,518 (4,414)	6,711 (4,870)	1,193 (456)	21.6% (10.3%)

派遣職員に係る人件費を含まず

2 16年度予算要求にあたっての基本的考え方

市民生活にとって最も大切なことは、日々安全・安心に暮らせることのできる街づくりであります。

今日では、高齢化の進展や国際化など、社会経済情勢の変化のなかで火災などの災害や事故の態様も複雑多様化、大規模・特殊化の傾向を強めております。また、平成15年9月26日早朝に起きました十勝沖地震では、札幌市でも実に21年ぶりに震度4の大きな揺れを観測し、市民生活に大きな不安を与えました。

こうしたなか、消防行政が果たすべき役割は、1,800余の職員と約240台の消防車両に代表される機動力に加え、24時間勤務体制という経営資源を十分に活かし、地域の皆さんと安全・安心の輪を広げ、あらゆる災害による被害を軽減するものです。

平成16年度の消防局予算要求は、「安全・安心を誇れる街サッポロ」をめざし、市民や事業所の皆さんとともに、火災や救急件数の抑制に向けた施策に取組み、消防需要の低減に努めるとともに、市民サービスの低下を招かないよう、次の4つの施策を柱として消防防災体制を充実してまいります。

1 施設・装備等の充実強化

2 火災予防体制の充実強化

3 警防体制の充実強化

4 防災体制の充実強化

1 施設・装備等の充実強化

消防・防災活動の拠点である消防施設の改築や改修を行い、災害に強いまちづくりを目指す。

長期使用に伴う機能低下や、修理に必要な部品の調達が困難な消防車両の更新を行い、火災出動や救急出動などの災害対応体制の充実強化を図る。

2 火災予防体制の充実強化

火災予防対策の一環として、住宅防火対策や放火火災防止対策等の推進を図るとともに、小学生に対しては、「教えて！ファイヤーマン」事業にて、「消防のしごと」に関する興味関心を高め、地域の消防の役割を理解してもらう。

緊急地域雇用創出特別事業を活用して、違反処理体制を推進し防火安全対策の徹底を図る。

3 警防体制の充実強化

高齢化社会の進展等に伴い年々増加の一途を辿っている救急要請への対応として、「救急車の増強」を図るとともに、より多くの命を救うために二相性除細動器の導入、及び気管挿管実施体制の整備を行う。

消防ヘリコプターの運航体制の充実強化を図る。

4 防災体制の充実強化

災害に強い安全で安心な地域社会づくりを進めるため、自主防災活動の推進を図り、防災訓練の実施や防災フェアを開催するとともに、札幌市洪水危機管理計画の策定、地域防災計画の充実強化、防災行政無線の更新等を行う。

3 予算要求の重点事項

ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

将来のまちづくりを担う子供たちが、「防火・防災・救急」について理解し、家庭や地域社会における火災や事故等を防ごうとする意識を持っていただけるように、「教えて！ファイヤーマン」事業を推進する。

1 自立した市民に育てる教育の推進

2 百万円（1 百万円）

注：（ ）内は 15 年度予算額

ア 「教えて！ファイヤーマン」事業（総務部） 2 百万円【レベルアップ】

消防職員が小学 4 年生の社会科の授業に出向き、児童の「消防のしごと」に対する興味関心を高め、防火・防災・救急の基礎的な知識を広めている事業。

その他

1 施設・装備等の充実強化

1, 5 1 1 百万円（5 8 1 百万円）

注：（ ）内は 15 年度予算額

ア 山鼻出張所改築（総務部） 4 3 2 百万円【重点】

消防・防災活動拠点として位置付けられている消防施設の機能を確保するために庁舎の改築を行う事業。

イ 消防局庁舎保全改修（総務部） 3 3 3 百万円【重点】

消防・防災活動の統括的な拠点として位置付けられている消防局としての機能を維持するために庁舎の保全改修を行う事業。

- ウ 暖房衛生設備改修工事（総務部） 90百万円
 消防・防災活動拠点としての機能を維持するために暖房・衛生設備の改修を行う事業。
- エ 庁舎監視システム更新整備（総務部） 25百万円
 消防出張所等において出動時に無人化となった際に、庁舎の監視を行う設備等の更新を行う事業。
- オ 消防車両購入（総務部） 599百万円
 長期使用に伴い機能低下の著しい等、使用に耐えられない消防車両11台の更新を行う事業。
- カ はしご車重整備（総務部） 30百万円
 屈折はしご付消防ポンプ自動車の主要部分の分解整備を行う事業。
- キ 現場急行支援システム専用車載機整備（総務部）
 2百万円【新規】
 緊急自動車が交差点に進入する際に、信号機の信号の種類を制御して緊急自動車を優先走行させるシステムを活用するための専用車載機の整備を行う事業。

2 火災予防体制の充実強化

62百万円（65百万円）

注：（ ）内は15年度予算額

- ク 防火安全緊急対応事業（総務部） 62百万円

「小規模雑居ビル等の防火安全緊急対応事業」の推進のために消防職員とともに従事又は業務支援する人材を雇用する業務。

3 警防体制の充実強化

124百万円（30百万円）

注：（ ）内は15年度予算額

- ケ 救急業務高度化推進（総務部） 64百万円【重点，レベルアップ】

救急業務を高度化するために、次の事業を行う。

二相性除細動器の導入

気管挿管研修・実習体制の整備

気管挿管関係資器材の導入

コ 救急車両増強整備（総務部） 44百万円【重点，レベルアップ】

増加の一途を辿る救急要請に対応するため，西消防署八軒出張所へ救急車の増強を行う事業。

サ 消防ヘリコプター運航体制充実強化（総務部）
16百万円【重点，レベルアップ】

消防ヘリコプターの長期整備期間中に機体を賃借し，各種災害に対応するための消防航空体制を確保する事業。

4 防災体制の充実強化

586百万円（372百万円）

注：（ ）内は15年度予算額

シ 耐震性貯水槽整備（総務部） 40百万円

阪神淡路大震災を教訓に，大規模地震災害等の発生時における消防水利として耐震性貯水槽を整備する事業。

ス 自主防災活動推進事業（総務部） 18百万円

災害発生時における，町内会，自治会を主体とした地域の自主的な防災活動を支援するため，防災資機材セットを支給する事業。

セ 洪水危機管理計画策定（総務部） 14百万円

豊平川の破堤氾濫等による浸水想定区域や避難に関する情報をわかりやすく表示した「洪水ハザードマップ」を作成して2ヶ年で市民に配布する事業。

ソ 地域防災計画整備（総務部） 8百万円

「地域防災計画」の事故対策編の充実を図るため，「（仮称）危険物事故対策計画・その他の事故対策計画」を策定する事業。

タ 地下構造調査（総務部） 98百万円

地震防災の基礎データ取得を目的として，本市域の堆積層の状況や地震波の伝わり方，地震基盤といわれる硬い岩盤の深さや形状を調査する事業。

チ 地震防災検討事業（総務部） 5百万円

「地下構造調査」の成果をもとに本市における地震対策等の検討を行う事業。

ツ 土砂災害対策計画修正（総務部） 1百万円

北海道からの土砂災害危険箇所調査結果に基づき，土砂災害対策計画の見直し修正を行う事業。

テ 防災行政無線更新整備（総務部） 266百万円

構成機器の劣化や送信・受信障害が発生しているため，防災行政無線を「市町村デジタル移動通信システム」で更新を行う事業。

ト 消防情報管理システム更新整備（総務部）

131百万円

予防，警防，管理業務など，消防業務の全般を支援する現行の予防システムの更新を行う事業。

ナ 防災フェア開催補助（総務部） 5百万円【新規】

防災週間（8月30日から9月5日）の期間中に，地震などの災害についての各種展示及び実演等を開催する経費の一部を補助。

4 事務事業の見直し

財団法人札幌市防災協会への派遣職員のプロパー及び嘱託化

標記財団法人へ派遣している職員を，プロパー職員及び嘱託職員に振替えることにより，人件費の削減を図った。＜効果額6百万円＞